

## 編集後記 Editor's Note

本誌はこの号から、電子出版となり、紙媒体での出版を停止します。大学からの刊行物は、原則として電子媒体によるという、東京外国語大学全体の方針に従ったものです。紙の雑誌への愛着はありますが、より広い範囲での学術の交流という面では、電子出版であることに優位性があることは明らかです。

本号から、各論文に日英両語による要旨とキーワードを整備し、世界中からの電子的検索により、論文が広く読まれるように紙面を整備しました。今後も、質の高い学術成果を、世界中に発信して行きたいと考えております。皆さんの積極的な論文投稿を期待しております。

なお、電子出版という特性上、この雑誌の性格も、より学術性を強める方向に向かって行くものと思われます。今年度は、「卒業生短信」の投稿がなかったので、こちらからの依頼もあえてしませんでした。「彙報」の部分は従来通りですが、見直しも必要でしょう。そのあたりも、次号以後、順次整えて行きたいと思います。訪問した海外の大学の書架に、本誌が並ぶ様子を何度も嬉しく見て来ましたが、そうした物理的な印象を越えた学術貢献は、より広く深い範囲に及ぶことを信じております。

2018年3月 『日本研究教育年報』編集委員会

編集委員 村尾誠一（編集長・日本文学）  
海野多枝（日本語教育学）  
阿部新（日本語教育学）